



白沢(嶺方)峠
標高 1,100m (長野県)

Photo by Y.Miyaji

忘れられない道がある。

言葉がカタチを意味するものである以上、
そのカタチが失われる時、言葉もまた失われていく。
かつて峠路が人の行き交う場所であり、
自転車が旅の方法論のひとつであった頃、
人が自転車に求めたものは、出会いであり別れであった。
旅の途中の別れのほろ苦さに人ととの絆の大切さを
あらためて感じ、そして知るのだ。
自転車は、そのゆっくりと流れる旅の風景に、
人の世の喜怒哀楽を垣間見せてくれる。
自己実現への旅。良き相棒としての自転車。

いつしか時は過ぎ去り、自転車は日常的な道具となり、
大量消費社会のパートでありまたゴミとなつた。
功利的な便利さへの飽くなき追求によって生み出される「日常」への埋没。
自転車が旅するものでなくなった時、人の心の旅もまた失われる。
Keyをたたくだけで、コトバが世界中を飛び回る今にあって、
自分のちからだけでペダルをこぎ、
出会いを求めて行くのは無駄なことなのであろうか？
長い道のりの果てに知る人の心の温かさこそが、
価値あるものではないのだろうか。
そう、信じたい。

ひとつ、またひとつと峠を越えて行く旅に、
「自転車」という言葉の意味を見い出したい人に贈る。

Passhunting
650A 390g 33mm

650 Col de La Vie
コル・デ・ラ・ヴィ シリーズ
ランドナー650A・B パスハンティング650A